

青教ス第277号
令和4年5月31日

各県立学校長 殿

教 育 長
(公 印 省 略)

学校体育団体及び教育研究団体が主催又は共催する各種大会に参加する際の
新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底について（通知）

各校におかれては、日頃より学校における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に取り組まれていることに感謝申し上げます。

また、5月16日付け青教育第285号・青教ス第194号により、校長の強いリーダーシップの下、全ての教職員が感染拡大を生じさせないという強い意識を持ち、常に危機感をもって感染症対策に取り組むようお願いしているところです。

今後開催が予定されている学校体育団体及び教育研究団体が主催又は共催する各種大会についても、主催者において感染拡大防止対策を最大限講じた上で開催することとしており、青森県高等学校総合体育大会については、別添のとおり各競技で徹底した感染拡大防止対策を講じた上での開催となります。

ついでには、今後開催が予定される各種大会に参加する児童生徒に対し、各大会が感染防止対策を最大限講じて行われることを周知した上で、主催者が定める感染拡大防止に関するルールを必ず遵守するよう指導の徹底をお願いします。併せて、教職員、学校関係者（外部指導者等）及び保護者に対しても周知願います。

また、本県の感染状況に鑑み、今後主会期を迎える青森県高等学校総合体育大会、青森県高等学校定時制通信制体育大会、全国高等学校野球選手権青森大会、青森県高等学校文化連盟の各専門部が行う大会及びこれらの大会に相当する中学校の各種大会終了後は、参加した児童生徒、教職員、学校関係者（外部指導者等）について、10日から2週間（平均的な潜伏期間である3～5日は特に）は、軽微なものも含めて平時と体調が異なる場合は自宅で療養するとともに、気にかかる症状等があれば、かかりつけ医（いない場合、連絡先が分からない場合は県コールセンター）に相談し指示を仰ぐなど、健康観察について特に留意するよう、児童生徒、教職員、学校関係者（外部指導者等）及び保護者に対し周知徹底願います。

（学校体育団体）

青森県高等学校体育連盟、青森県高等学校野球連盟、青森県中学校体育連盟等の団体
（教育研究団体）

青森県高等学校文化連盟、青森県中学校文化連盟等の団体

【担当】

- 運動部活動、保健管理等に関すること
スポーツ健康課 体育・健康グループ TEL 017-734-9907（直通）
- 文化部活動に関すること
学校教育課 高等学校指導グループ TEL 017-734-9883（直通）

県民の皆さまへのお願い
新型コロナウイルス感染拡大防止



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakuudaiboushi.html>

第75回青森県高等学校総合体育大会における競技ごと重点的な感染拡大防止対策

※基本的感染拡大防止対策及び感染判明時の対応等は「新型コロナウイルス等感染症拡大防止対策に関する資料」（県高体連）による。
 ※このほか、各会場において、感染拡大防止対策の実施について参加者に放送等で呼びかけるとともに、係員が定期的に会場を巡回する。

	競技	開閉会式	会場の換気・消毒	他校との接触を避ける	審判等のマスク着用	各競技特性に合わせた対策等
1	陸上	開：優勝旗・準優勝杯返還のみ行う。 閉：優勝旗・準優勝杯授与のみ行う。	・用器具（バトン等）は定期的に消毒する。 ・競技役員が使用する電子機材等は、使用者が代わる度に消毒する。 ・個室の競技役員室は常時開放し業務を行う。	・控え場所となるスタンドを学校毎に区分けし、各校でテントを準備しスタジアムの外に配置可とした。 ・招集所では、開始時間を明示し、入場制限等を行い間隔を十分とれるようにする。 ・スタート直前までマスクの着用を求め、ゴール後も速やかに着用させる。 ・待機用ベンチを増量し参加者同士が隣り合わせにならないようにする。	・参加者と対面する競技役員はフェイスシールドを着用する。	・握手・ハイタッチ・ハグ・つば吐きを禁止とする。 ・ゴール後の倒れこみの自肅を求める。 ・参加者には飲料や衣類、使用済みのテーピング等直接触れたものを放置しないように求める。 ・トラック競技はゴール後、退場口に消毒液、マスクを準備し利用を促す。
2	体操	開：開会宣言のみ行う。 閉：閉会宣言のみ行う。	・1時間ごとに換気をする。 ・試合中は扉を開放する。	・競技開始前の入場行進は実施しない。（体操競技） ・会場への入退場を時間で区切った。（新体操） ・選手席に椅子を置かず、待機ゾーンを作った。	・マスクを着用する。	・炭酸マグネシウム（滑り止め）は、各校で準備する。他校のものを使用しないこととする。 ・公式練習中・競技中選手待機ゾーンにいるときは、マスクを着用する。 ・生徒によるジャッジペーパーの回収を廃止する。（審判員へのタブレット配布）（新体操）
3	水泳	開：優勝旗・準優勝杯返還・選手宣誓を行う。 閉：優勝旗・準優勝杯授与のみ行う。	・アリーナ内、選手控え場所ともに気候上可能な限り2方向の窓を開け、常時換気を行う。	・種目毎の招集開始時間を設定する。 ・更衣室は更衣のみとし、ロッカーは使用禁止とする。	・選手以外の者は常時マスクを着用する。	・選手は、泳ぐとき以外は常にマスクを着用する。 ・マスクはレーンの前ではなく、服のポケットか袋に入れる。 ・レース後、更衣室に移動する前にマスクを着用する。
4	バスケットボール	実施しない。 試合後ベンチ前で表彰を行う。	・試合に出場した選手は、タイムアウト・選手交代・ピリオド終了時には手指消毒を必ず行う。 ・試合終了後はベンチの消毒、全員手洗いがいを行う。 ・試合に影響が無い限りカーテンを開けて換気する。 ・カーテンを閉めても常に窓は開ける。	・試合後は相手チームへ挨拶をしない。 ・会場は試合開始1時間30分前から入場すること。 ・負けた場合は、速やかに会場から退場する。 ・勝ち上がった場合は、なるべく会場の外（屋外、バス等）で待機する。 ・更衣室はなるべく1チーム一部屋で割り振る。	・審判はマスクかフェイスシールドを着用する。 ・ベンチではマスクを着用する。	・試合球は各チーム持ち寄りで行うこととする。 ・ベンチではマスクを着用する。 ・試合中の選手のマスクも可能とする。 ・大声での応援は禁止とする。
5	バレーボール	実施しない。 1位～3位はコートで表彰を行う。	・試合前後の手洗い、手指消毒を徹底する。 ・試合終了後はベンチを消毒する。 ・チームの荷物置き場では、各チームで消毒を必ず行う。 ・1試合毎の換気を行う。	・各コートの1日の試合数を少なくし、1度に多くの学校が集まらないようにする。 ・会場の待機場所を各校指定席とする。 ・選手同士（審判含む）の握手は行わない。	・役員、審判員はマスクを着用する。	・試合開始時間を遅らせ、各チームの宿泊の必要性を減らした。 ・出場選手以外（ベンチ、ウォームアップエリアも含む）はマスクを着用する。 ・試合に参加していない選手及びベンチ入り以外のメンバーは、密にならないように距離を確保し、大きな声での会話や声を出しての応援等を禁止とする。
6	卓球	実施しない。	・1試合ごとに卓球台の消毒をする。 ・抗菌・抗ウイルス対応ボールを使用する。 ・自分で使った観客席を消毒する。 ・1時間30分で競技を止めて換気をする。 ・選手は試合前、試合後手指消毒をする。	・日程を延ばし、タイムテーブルの大幅変更を行った。 ・入場制限をして体育館へ入る人数を減らした。 ・台数を減らし、隣との間隔を空ける。 ・座席の間隔をあけるため、座れない座席へ表示をする。	・選手以外はマスクを着用する。 ・審判はマスクとビニール手袋してカウントをとる。	・密状態を回避するため日程を1日延長した。 ・1試合1球使用を徹底する。 ・審判員を固定する。 ・卓球台の上で手を拭かない。 ・シューズの裏を手で拭かないことを徹底する。 ・試合中大きな声をださない。 ・タオルを卓球台にかけずに各自で管理する。
7	ソフトテニス	開：各校代表選手1名・顧問1名の参加とする。 閉：表彰のみ行う。	・使用する備品を定期的に消毒する。 ・各コートにも手指消毒用アルコールを配備し、コートに入退場する際は、その都度消毒する。	・試合開始時の挨拶とトスはネットから1メートル離れて行う。 ・試合終了時の挨拶はネットから1メートル離れて行う。 ・受付時は地区ごとに分散して行う。	・マスクを着用する。	・試合以外はマスク着用を徹底する。 ・ペアでの話は距離を置いて、ハイタッチなどは行わない。 ・試合の応援は拍手のみで行う。
8	ハンドボール	決勝戦の表彰のみ行う。	・換気や人の入れ替えのため、ハーフタイムを10分から15分に変更する。 ・試合終了後は手指消毒、ベンチの消毒を必ず行う。	・会場での待機場所を指定する。 ・試合後は、速やかに会場から退場する。 ・勝ち上がった場合は、割り当てられた待機場所で待機する。	・役員はマスクを着用する。 ・審判は試合中以外はマスクを着用する。	・試合に出ている選手、交代選手以外は常にマスクを着用して、距離を保つこととする。 ・大声での応援は禁止する。
9	サッカー	決勝戦の表彰のみ行う。	・前半1回・後半1回、飲水タイムを設け、マイボトルでの水分補給をする。（当日の気温等によって試合前に検討する） ・飲水タイムを実施しない場合でも、ボトルの共有はしない。（マイボトル、飲みきり飲料で水分補給をする） ・ガイドラインを遵守した中で会場によって消毒できる場所は消毒を行う。	・試合と試合の間隔を空ける。	・役員はマスクを着用する。 ・審判は試合中以外はマスクを着用する。	・試合会場では原則マスクを着用する。 ・出場選手以外（試合中のW-upも含む）はマスクを着用する。 ・ベンチメンバー以外の応援活動は、マスク着用と3密防止、ソーシャルディスタンスを確保する。
10	ラグビー	表彰のみ行う。	・試合終了後のベンチを消毒する。 ・マイボトルでの水分補給を行う。	・試合前の挨拶については距離を取る。 ・会場に置く荷物等は、できるだけ各チームで配慮しながら距離を保つこととする。	・暑さを考慮しつつマスクを着用する。 ・審判は試合中以外はマスクを着用する。	・出場選手以外（試合中のW-upも含む）はマスクを必ず着用する。 ・ピッチ内のW-upは試合前に行う。
11	バドミントン	開：自席に着席して実施する。 閉：実施しない。	・90分に1回5分間の換気の時間を設ける。 ・試合をする選手は自分の荷物をまとめてラケットバッグ等に入れ、コートサイドに置く。 ・自分が使った座席等は、自分で消毒して帰る。	・学校対抗戦において、選手は挨拶後、次の試合に入る選手と監督とコーチ以外は2階ギャラリーの自席に着席する。 ・試合観戦後は速やかに解散すること。また、会場内の出入は最小限に抑えることとする。	・審判はマスクを着用する。 ・使用する用具は各自持参する。 ・主審はコールをしない。	・試合会場では試合をしている選手以外、必ずマスクを着用する。 ・タオルやラケット等の共有は避ける。
12	ソフトボール	開：実施しない。 閉：決勝進出チームのみが参加する。	・試合終了後、使用したベンチ等を消毒する。	・試合前の挨拶を各チームのベンチ前で行う。 ・各校で待機場所を指定する。	・マスクを着用する。	・選手はプレー中以外にはマスクを原則着用する。 ・指導者は原則、マスクを常時着用をする。 ・監督会議、役員の打ち合わせ等は、できるだけ短い時間で実施する。

第75回青森県高等学校総合体育大会における競技ごと重点的な感染拡大防止対策

※基本的感染拡大防止対策及び感染判明時の対応等は「新型コロナウイルス等感染症拡大防止対策に関する資料」（県高体連）による。
 ※このほか、各会場において、感染拡大防止対策の実施について参加者に放送等で呼びかけるとともに、係員が定期的に会場を巡回する。

競技	開閉会式	会場の換気・消毒	他校との接触を避ける	審判等のマスク着用	各競技特性に合わせた対策等	
13	相撲	開：開会宣言のみ行う。 閉：表彰のみ行う。	・練習・試合前後において、可能な範囲で、消毒を行う。試合中に消毒することも認める。 ・会場の窓は換気のため常時開けておく。 ・ウォーミングアップ・試合前後に、選手には必ずアルコールでの手指消毒と除菌シートでの体の消毒を徹底する。	・至近距離（1～2mの距離をとる）での会話を控える。 ・控え場所では、できるだけ前後左右、間隔をあける。	・主審はマウスシールドを着用する。 ・主審以外の審判は、競技中もマスクを着用する。	・競技時以外はマスクを着用し、こまめに手洗い、手指消毒を行う。 ・各学校に除菌シートを配布し、ウォーミングアップ・試合前後に体の消毒を行う。 ・真正面での会話は避ける。 ・通常、取組前に行う「塵手水」をしないこととする。
14	柔道	開：選手は観客席に着席し実施する。選手宣誓はなし。 閉：入賞チーム及び選手のみ集合し、成績発表及び閉会宣言のみ実施する。	・会場内、更衣室等について、常時換気する。 ・試合場（畳）の消毒は、団体戦は1試合ごと、個人戦は10試合ごとに行う。 ・共用の多い用具（計時用具、紅白帯、副審用イス、ケアシステム一式など）は係員が適宜消毒する。その他の使用した用具・箇所については終了時に消毒する。 ・ウォーミングアップ・試合前後に、選手には必ずアルコールで手指消毒するよう徹底する。	・試合場エリアへの入場は、団体戦では試合校のみ、個人戦では5試合前までの選手だけに制限する。 ・所属チームの競技終了後、速やかに帰宅する。	・選手以外は常時マスクを着用する。 ・試合中の審判員はマスク若しくはマウスガードを着用する。	・試合時間は従来は4分間だが3分間とする。 ・全ての入場者のマスクの着用、学校ごとの手指消毒用アルコールを準備する。 ・ウォーミングアップ・試合中、外したマスクは各自のクリアフォルダ等に保管する。
15	ボート	開：各選手間の距離を十分にあげて全員マスク着用の上、整列する。 閉：実施せず、賞状伝達のための簡素な表彰式を実施する。	・配艇ごとに艇を消毒し、リギング前の消毒を義務付ける。 ・むつ合同艇庫、施設内の艇を含む機器を消毒する。 ・使用物品をこまめに消毒する。	・他校と接触しないよう、学校毎のテント（待機場所）を用意し、食事自校の生徒と黙食で摂るよう指示する。	・審判、役員、顧問は常時マスクを着用する。	・運動時以外はマスクを着用する。（来場者は原則全員） ・出艇時の声を出しての応援を禁止する。 ・保護者等の立ち入りは川の対岸のみとし、運営側には関係者以外の立ち入りを禁止とする。（生徒と関係者以外の接触はゼロ）
16	剣道	開：各選手間の距離を十分にあげて整列する。 閉：入賞チーム及び入賞者のみ整列する。	・面マスクとマウスシールドの着用を義務づける。 ・毎試合後に畳席を消毒する。 ・常時換気をする。 ・試合前後のアルコール消毒を徹底する。	・公式練習時間の指定をする。 ・握手等の身体接触は避ける。 ・可能な限り更衣を済ませて会場に入る。	・審判員・監督はマスクを着用する。 ・補助員はマスクとフェイスシールドを着用する。	・試合中、身体接触があった場合は双方積極的に分かれ、密着を避ける。（ルール変更） ・団体戦は延長（2分）を実施しない。（ルール変更） ・面マスクとマウスシールドの着用を義務づける。
17	レスリング	どちらも簡素化して実施する。 ・各選手間の距離を十分にあげて整列する。	・学校対抗戦1試合毎にマットを消毒する。（個人対抗戦は回戦毎に消毒） ・試合をする選手は、対戦前・後に手指消毒をする。 ・換気は常に行い、サーキュレーターも設置する。	・ウォームアップ用マットにおける人数制限や時間帯を設定する。 ・控室を共用しない。 ・飲食時の対策として、密を避けるため新たに別室を確保し、向き合うことなく黙食を厳守する。	・審判はフェイスシールド着用、試合ごとの手指消毒をする。 ・役員はマスク、フェイスシールドを着用する。 ・役員席には、アクリル板を設置する。	・役員を最小限の人数とする。 ・試合以外はマスクを着用する。 ・競技中は、コーチはマスクを着用する。 ・審判と競技者が行う握手は避け、一礼にて行う。
18	弓道	実施しない。	・3地区の競技の間に換気の時間をとる。 ・弓道場、控室ともに定期的に窓を開け換気をする。 ・試合前後の手洗い、手指消毒を徹底する。 ・共有するイスは適宜消毒する。	・受付場所を武道館隣の遠的場にする。 ・予選は男女別日とし、宿泊せずに参加可能な日程とした。 ・控室を複数準備し、県内3地区に分け、利用時間を限定した。 ・受付の時間、競技の時間を県内3地区に分けた。 ・控室と試合会場への動線を一方通行とする。	・審判、役員、顧問は常時マスクを着用する。	・試合時間短縮のため、団体100射を80射に代えた。 ・弓具等の共用は避ける。 ・選手は控室までマスクを着用する。選手は射場に入場するときはマスクを外し、自分で保管し、退場後は再びマスクを着用する。 ・顧問、指導者は原則、マスクを着用する。 ・観客席の入場は顧問・コーチ・写真業者・補助員のみとする。 ・応援する場合は拍手のみとし、発声は禁止する。
19	テニス	どちらも簡略化して実施する。 開：各選手間の距離を十分にあげて整列する。 閉：表彰のみ行う。	・握手による挨拶を行わない。ラケットタッチで行う。 ・試合終了後はベンチ、審判台などの手を触れた設備を消毒する。 ・引率顧問・選手のアルコール消毒、手洗い、うがい、洗顔等を徹底する。	・控え場所を学校単位で指定し、仕切りを付ける。	・審判はマスクを着用する。 ・試合中以外は全員マスクを着用する。	・試合開始、終了後の挨拶は握手による挨拶を行わず、ラケットタッチで行う。 ・応援は拍手のみとし、声を出しての応援は自粛する。
20	登山	どちらも簡略化して実施する。 広い場所で実施する。	・テント泊をせず宿舍泊（岩木青少年SC）に変更する。 ・テントでの食事はせず、宿舍の食堂を使用する。	・隊行動の時間を少なくしチーム行動の時間を増やした。 ・食事や入浴など時間差を設けて混雑しなように配慮した。	・運営役員は最低人数の参加とする。 ・常時マスクを着用する。	・テント泊をせず宿舍泊（岩木青少年SC）に変更する。 ・密を避けるためテントでの食事はせず、宿舍の食堂を使用する。 ・参加者（選手・役員）に対して受付時に簡易式抗原検査キットで検査を実施する。
21	自転車	開：競技のスタートラインに整列した状態で実施する。	・機材等は共用しない。やむを得ず共用する用具については、身体が頻りに接触する箇所を消毒する。	・各校の控え場所について、風通しの良い場所を指定した。	・競技役員、スタッフはマスクを着用する。	・マスクの着用（ただし、熱中症や競技特性に応じた対応に留意する）を徹底する。 ・選手はスタート前までマスク着用する。 ・走行直後等の息が上がっている状態でのマスクレスの会話は厳に慎む。 ・参加チームごとに、感染拡大防止対策として、検温計、消毒用アルコール、手袋等を準備しておく。
22	ボクシング	どちらも簡略化して実施する。 ルール説明会で部長挨拶のみ行う。	・会場は換気の状態を保ち、グローブやリングは適宜消毒を行う。	・待機場所を指定する。	・レフェリー、ジャッジ等のマスク着用を徹底する。	・医事委員会のガイドラインのもとで感染症対策を取る。会場にも医師を帯同し、感染症対策を徹底する。
23	ホッケー					

第75回青森県高等学校総合体育大会における競技ごと重点的な感染拡大防止対策

※基本的感染拡大防止対策及び感染判明時の対応等は「新型コロナウイルス等感染症拡大防止対策に関する資料」（県高体連）による。
 ※このほか、各会場において、感染拡大防止対策の実施について参加者に放送等で呼びかけるとともに、係員が定期的に会場を巡回する。

競技	開閉会式	会場の換気・消毒	他校との接触を避ける	審判等のマスク着用	各競技特性に合わせた対策等	
24	ウエイトリフティング	簡素な賞状授与式のみ実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 会場内は常時換気とする。 検量時のプロセスを簡略化し、最低限の人数で行う。 試技時に使用する炭酸マグネシウムを主催者から個別に配付し、共用せず各自で使用させる。 試技用シャフトは盤付けの生徒が消毒を行う。ウォーミングアップ場のシャフトは各選手がアップ前後に各自で消毒を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 1日目の競技時間を減らした。 選手控え室を増やした。 試技前の試技アップ場を倍にした。 選手の導線をコントロールした。 競技運営の状況や試技の様子を伝えるモニターを倍に増やし密を避ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 競技役員は十分な距離を保つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 会場内は、競技者のウォーミングアップ時と試技前後のセコンド滞在時以外、全員常時マスク着用を義務とする。コーチングの最低限の発声のみとし、発声による応援等はなし。 競技役員を平常時から1/2～1/3に減じた。
25	ヨット	どちらも簡素化して実施する。 各選手間の距離を十分にあげて整列する。	<ul style="list-style-type: none"> 選手の手指消毒を徹底する。 各艇の水洗い、消毒を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 出航・帰航手続きをオンライン化する。 更衣室は、交代で使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 審判・役員は、海上であっても、マスクを着用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 選手は海上での競技以外は原則マスクを着用する。 監督・コーチ・その他運営者を含む出場選手以外は、原則マスクを着用とする。
26	フェンシング	どちらも簡素化して実施する。 各選手間の距離を十分にあげて整列する。	<ul style="list-style-type: none"> 会場内において機器等を消毒する。 試合の合間に可能な限り、換気を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 各校の控え場所を指定する。 他校との接触を極力避けるようアナウンスする。 	<ul style="list-style-type: none"> 審判・役員等はマスクを着用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動時以外はマスクを着用する。（来場者は原則全員） 試合前後はサリュューし、握手の代わりに剣を一度交える。
27	空手道	どちらも簡略化して実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 試合の合間にマットの消毒及び換気を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 日程を組み替え、1日あたりの参加選手の数を減らした。 握手、ハイタッチ、ハグなどは行わないこととする。 	<ul style="list-style-type: none"> 審判・役員等はマスクを着用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 練習・試合中を除き、大会会場では原則マスクを着用する。選手は試合の直前、待機中もマスクを着用する。 試合用安全具（メンホー、拳サポーター、インステップガード等）や帯の共用は認めない。 組手競技においては、メンホー用マウスシールドを装着する。 応援は拍手のみとし、声援は禁止とする。
28	アーチェリー	どちらも簡素化して実施する。 各選手間の距離を十分にあげて整列する。	<ul style="list-style-type: none"> 選手間の立ち位置を通常よりも拡大する。 選手は、入場・退場の際に手指消毒を徹底する。 会場入口、選手エリア、観客エリア、トイレ周辺に消毒資材を設置し、こまめに行うよう周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> 待機場所を指定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 審判・役員等はマスクを着用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 受付時や大会の準備時等、競技を行っていない場合には マスクを着用する。 選手エリアと観客、応援者のエリアを区別し、接触を避ける。
29	なぎなた	<ul style="list-style-type: none"> 入場行進を実施しない。 各選手間の距離を十分にあげて整列する。 	<ul style="list-style-type: none"> 試合と試合の合間に、床にモップ掛けを行う。 会場の採光窓には遮光カーテンを引くが、会場内の小窓等は開放したままにし、常時換気を行う。 標示具やマイクなど、使用した道具は時々ウェットティッシュで拭く。 	<ul style="list-style-type: none"> 待機場所を指定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 役員は常時マスクを着用する。 会話は必要最小限にとどめる。 青森県なぎなた連盟マニュアルの他に、独自に定めるルールを遵守する。 	<ul style="list-style-type: none"> 試合時間短縮のため、通常「予選リーグ決勝トーナメント」と行うものをすべてトーナメント方式に変更する。 団体試合、個人試合に出場する選手は、配付する透明な面シールドを装着する。 演技競技に出場する選手はマスクを着用する。 練習の際もマスクを着用する。 応援の際は声を出さず、拍手のみ。
30	硬式野球	開：実施しない。 閉：表彰式のみ行う。	<ul style="list-style-type: none"> 試合終了後、使用したベンチの座席や手すりなどの消毒作業を各校で行う。 ヘルメットやバットなど共有して使用する道具について消毒作業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 待機場所を指定する。 メンバー交換での握手はなしとする。 試合後はなるべくすぐ帰ってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 審判はマスクを着用する。 役員もマスクを着用し、本部席にはアクリル板のパーティションを設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> 控え選手はベンチ内でのマスク着用義務付ける。 試合開始の整列時の挨拶は審判の号令に合わせ、礼をするが、声は出さない。 校歌は歌わない。 ハイタッチ等の接触を避ける。 ロジンは他校と共有しない。
31	軟式野球					
32	馬術	どちらも時間短縮（簡略化）をして実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 選手間で競技用具等の共用を禁じると共に、使用用具の消毒を徹底させる。 大会本部、審判席、放送室、成績集計室等、役員が運営のために使用する諸室は、常時換気を行い、アルコール消毒を定期的実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 厩舎への立ち入り人数を制限する。 参加頭数を減らし、厩舎の中においても収容する馬の馬房間隔を空ける。 練習馬場あるいは待機馬場に入る人数を制限する。 騎乗者以外の入場者はマスクの着用を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 受付を行うスタッフは、マスクを着用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 騎乗中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとするが、受付時や着替え、開・閉会式等、騎乗していない時は、マスクを着用する。
33	少林寺拳法	どちらも簡素化して実施する。 各選手間の距離を十分にあげて整列する。	<ul style="list-style-type: none"> 30分に1回程度、会場の扉・窓等を開放して換気を行う。 競技と競技の合間に、床にモップ掛けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 各校で待機場所を指定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全員マスクを着用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 大会日程を2日から1日開催に短縮する。 会場入場者は全員マスクを着用する。
34	ボウリング	開：実施しない。 （館内放送による大会長挨拶と諸注意のみ行う。） 閉：閉会式・表彰式 選手・役員はマスクを着用する。（写真撮影時のみマスクをはずす）	<ul style="list-style-type: none"> 各シリーズの投球終了後は手洗い・消毒を徹底する。 シリーズごとに機材、座席等を消毒する。 会場内は定期的に窓を開放し、換気をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 競技開始前の挨拶では、握手はしない。 ハイタッチ等、選手間の接触行為を禁止する。 他選手の競技用具には触れない。 エントリーした選手のみ入場を認める。 受付記録用紙の配布回収は監督を通じて行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ボウラーズベンチ内の選手・役員はマスクを着用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 大会参加選手は競技中（投球中や投球の待ち時間を含む）も常時マスクを着用する。 競技中のマシントラブル・アピール等について、通常は赤旗を上げるが、赤旗を使用せず、拳手をして審判に知らせる。 会場内への入場は大会関係者（選手・顧問・コーチ・役員）のみとし、無観客とする。
35	ゴルフ	実施しない。	<ul style="list-style-type: none"> 参加選手全員にゴルフグローブ、携帯用消毒スプレー、マスクを支給した。 大会終了後の浴室（着替え等で使用）の利用を禁止する。 	<ul style="list-style-type: none"> 短時間での受付とした。 競技開始までは、外で待機し密を避けるようにした。 4人1組を2人1組で競技を実施する組み合わせとした。 	<ul style="list-style-type: none"> 競技役員は常にマスクの着用と手指消毒をする。 	<ul style="list-style-type: none"> マスクを持参し、受付時や競技を行っていない時、また会話をする際にはマスクを着用する。 選手に昼食（軽食）を提供し、決められた時間と場所で食事を取るようにした。（9ホール終了後、10分で昼食を済ませ、残り9ホールをプレーするようにした）